

SPECIAL INTERVIEW

音楽インタビュー

Taro Hakase World Tour 2013 JAPONISM

世界5カ国をまわる、初の世界ツアーを敢行！

初のワールドツアーを11月22日から開始するバイオリニストの葉加瀬太郎。ニューヨークのザ・タウンホールでも12月5日(木)、その美しいバイオリンの旋律が響き渡る。

—今は秋の全国ツアーの真っ最中ですね。

ほぼ毎日コンサートなので、楽しみながら走り続けています。以前は一つのコン

サートの中に、クラシカル

な要素と、バンドと一緒にエンターテインする要素を両方取り入れていたのですが、3年前から春のツアーではマイクも使わないクラシカルなもの、秋のツアーではエンターテインするものというように分けています。

待つてくださっている方のところに、お祭りを届ける気持ちで行っています。昔だったらショップにCD

を買いに行くのが普通だったけど、今はポチッとするだけですよね? どれだけ音楽を手に入れるのが簡単になつても、生の音楽を届けるのは僕らが動かないとできないことでこの部分

だけはもつと便利になつて変わらないと思います。昔よりもコンサートをすることが、自分で大きく膨らんできています。

—ツアーテーマは、新しいアルバム『ジャボニズム』の流れをくんだもの?

そうですね。このアルバムは、日本の魅力を自分なりにもう一度確かめたいというのがあつて出来上がったもの。和楽器を取り入れ、日本人のアイデンティティを音楽に盛り込むというのはどういうことかな」と考えながら作りました。

—アルバムにはいろいろなアプローチが入っています、ミージャンとしての可能性や世界観がさら

に広がっていますね。

僕の音楽って、明確に「これ」というのは意識せずに自分がやりたいことを音楽にしているんですが、和

樂器や日本のメロディーを取り入れなくても「日本人的」と言われることが多くてね。何かそういう「日本人的なもの」はここ数年、明確になってきたと自分でも感じますね。

—世界ツアーをするというのは、何か意味合いを持ちますか?

「やつ」ということで、僕は、バイオリンを使つてどんな音楽を作れるかと

いうことをずつとトライアルしてきました。ただし、それは日本だけのためという意識ではないかったです。聴いてください

前回は2010年のブルーノートでした。一番の思い出は、若いころから大

ファンだった矢野顕子さんが来てくださったことです。突然だったので、泣き

しました。「来るなら言つといてよ、心の準備があるじゃない」つて(笑)。

日本人の方もたくさん来てくださいり、皆さんと接

すことができるて楽しかつたです。海外では日本人のコミニティーは大切です

ので、いつか自分なりの形でワールドワイドにやつてみたいという気持ちです

—纽约でのライブは2

世界5カ国をまわる
初のワールドツアー全貌

Nov 22nd (Fri) 韓国(ソウル)
Nov 25th (Mon) イギリス(ロンドン)
Nov 28th (Thu) ドイツ(ケルン)
Dec 5th (Thu) アメリカ(ニューヨーク)
Dec 12th (Thu) 台湾(台北)

New York公演

Dec 5th (Thu)
Open 7:30pm, Start 8pm
@ The Town Hall (123 W. 43rd St., bet. 6th & 7th Aves.)
Ticket: \$49.50-89.50
www.ticketmaster.com

(Information)
www.taro-hakase.com



8月にリリースしたアルバム『JAPONISM』。



生の音楽を届けるのは僕らが動かないとできない」と。
コンサートの意味合いが、年々大きく膨らんでいます。

取材ごぼれ話

「ロンドンでの暮らしと
ニューヨークへのあこがれ」

ロンドンの中心地からバスで15~20分の場所に住んでいます。テムズ川を渡った瞬間から田舎になるって感じで、時間がゆっくりと流れています。日本では忙しい毎日だけど、それを終えてロンドンでゆっくりできるから、こうやって日本で仕事をがんばっています。

以前、ニューヨークに住もうかと思っていた時期もあったけど、子供ができたりして、ロンドンをチョイス。今では子供は14歳です。アメリカが大好きで、とにかくアメリカに行くことだけを考えている女の子。今回の公演が決まり、連れて行けと毎晩電話で懇願されますが、家内が「学校休んじゃいけません」と(笑)。ロンドン子って小さいときからアメリカ映画を見て育っているからあこがれが強いんです。僕にとってもニューヨークは、いつか住んでみたいといまだに思っている街です。

1990年にKRYZLER&COMPANYでデビュー。96年に解散後、ソロでセリーヌ・ディオンのワールドツアーに参加するなど、国境やジャンルを越えて活躍。今年9月から「Taro Hakase World Tour 2013 JAPONISM」と銘打ったツアー(日本全40公演)を開始し、11月からは海外5カ国を回る初のワールドツアーも開始。2007年よりロンドン在住。

僕の音楽つて、明確に「これ」というのは意識せずに自分がやりたいことを音楽にしているんですけど、和

なつていてるんじゃないかな。これは外国で暮らすつていうタフな人生があるからこそですけど。今日は劇場公演です。日本そのまま持つて行きたいのですが、タウンホールは狭いのでやむを得ず縮小することになります。でも、できる範囲でベストを尽くしますし、気持ちは同じです。

僕の音楽つて、明確に「これ」というのは意識せずに自分がやりたいことを音楽にしていました! —12月5日を楽しみにしています!

僕の音楽つて、明確に「これ」というのは意識せずに自分がやりたいことを音楽にしていました! —12月5日を楽しみにしています!

僕の音楽つて、明確に「これ」というのは意識せずに自分がやりたいことを音楽にしていました! —12月5日を楽しみにしています!

(Information)
www.taro-hakase.com

葉加瀬太郎